



御坊東ロータリークラブ Club Weekly Britain



四つのテスト(Four way Test)
①真実かどうか ②みんなに公平か
③好意と友情を深めるか
④みんなのためになるかどうか

例会 水曜日18時30分 御坊御坊商工会館3F
事務局 〒644-0002 和歌山県御坊市南350-28(御坊商工会館3F)
連絡先 TEL 0738-23-2334 FAX 0738-22-1234
URL <http://gobo-rc.jp/east/>

会長 尾崎達哉
副会長 稲垣崇三
幹事 細川幸三

☆ 司会進行 副SAA - 濱田泰伸 君
<ゲスト>
* 御坊警察署 警備課 山岡忠人 様 他2名

本日のプログラム

「防災」

御坊警察署 警備課 山岡忠人 様

本日は、私たち警備課の業務のなかで、今、最も重要であるとされている防災について、お話しさせていただきます。

私は災害ということに関しましては、これまで現場で多くの経験をしてきました。

ここ和歌山県内で言いますと、東日本大震災の半年後の9月に発生しました台風12号による紀伊半島大水害が記憶に新しいと思います。

災害というのは、地震による震災や津波被害、台風やゲリラ豪雨による風水害等、様々なものが考えられます。

ニュース等で災害現場を見れば「恐いな、いざこの付近で起こったらどうしよう」という風に思いますが、その記憶というのは風化されやすく、発災から数年が経つと防災への意識が薄れてしまうように思います。

そのようなことがないように、私たちは日々防災啓発ということを継続している訳です。



Celebration

【会員お誕生日】

会員誕生 白井 勇 君、小池啓介 君



まず、防災には「自助、共助、公助」という言葉があります。

自助というのは自分のことは自分で守る、共助というのはご近所同士で助け合う、最後の公助というのは私たち警察や消防、自衛隊による救助、支援を意味します。

「いざとなったら自衛隊、消防、警察が助けてくれるわ」と考えて頂いている方もおられると思いますが、実際我々官公庁が出来ることには限界があります。

本格的に態勢が整うには最悪3日を費やすとも言われております。

「自助、共助、公助」の割合は7:2:1であるということを知って頂きたいと思います。

東日本大震災の際、どの様な被害が多かったかと言いますと、地震が発生した時間が午後2時46分であり、皆さんもご家族、もしかしたらお子さんがおられる方もいられるかも知れませんが、ちょうど小学校に通われているようなお子さん達が帰宅する時間帯でした。

家にいるお母さん、おじいちゃん、おばあちゃんが「あ、うちの子まだ学校から帰って来てない、津波が来るかもしれないと言ってるから迎えに行つてあげやな」ということで家を飛び出して、迎えに行っている途中で津波にさらわれてしまうということも多く発生しました。

一度帰って家族会議を開いて下さい。

会長告知

会長 尾崎達哉 君

先日、小林会員の事業所が30周年と言う節目を迎えました。私達クラブからも数名の方が参加し、お祝いすることが出来ました。誠にありがとうございます。

10月に入り少しは過ごしよくなったと思います。又今月から男性は上着とネクタイ着用となりましたが、今年はまだまだ残暑が続いているようです。

本日のプログラムは御坊警察署警備課の山岡忠人様、他2名の方々の防災についての外来卓話です、よろしくお願い致します。

幹事報告

副SAA - 濱田泰伸 君

○今年度も会員名簿を作成しますので訂正のある方は事務局までご連絡下さい。

その会議の中で「私たちの家族はあそこへ避難しよう。それぞれの場所からみんなバラバラになって逃げて、最後にはあそこで集合しよう。」という事を事前に決めておけば、少しでも被害が減少出来るのではないかと考えております。

いざという時に家族がお互いに信じ合って、「他のみんなは先にあそこに逃がっているはずだから大丈夫だ。」という信頼関係を普段から築いて頂くということが大事なことなのです。

そのためにも日頃から繰り返し家族の意思疎通を図る、避難訓練に参加するなどの取り組みをお願いしたいのであります。

さて、和歌山県が独自に発表した南海トラフ巨大地震発生の際の被害予想ですが、和歌山県内における予想死者数は9万400人という甚大な被害となっています。

ただただ9万400人という数字のみを聞いてしまうと、「これなら逃がっても一緒やな」「あきらめよう」と思う方もおられるかもしれませんが、決してそうではありません。

ここで皆さんにお伝えしたいのは、大きな地震が発生した際には皆さんが大声で「津波が来るぞ、逃げろ！」と叫びながら避難することで周囲の人達も「あ、逃げやなあかんのやな。」と巻き込むことができます。

そうして率先して避難行動をとり、周囲の人達を巻き込んで逃げる「率先避難者」となって頂きたいということです。

必然的に被災死者数を減少させることができるのです。地震・津波は恐ろしいという考えは決して間違っていないのですが、災害はきちんとした知識を持って「正しく恐れる」ということが最重要なのです。

活動を続けることにより、より多くの方の「防災意識の高揚」に繋がっていきますので皆様の御協力をよろしくお願いします。

大規模地震・津波に備えよう！

近い将来、和歌山県では、南海トラフの巨大地震などの大規模地震が発生すると予測されています。

日頃の備え

- タンス、本棚などは壁や柱などに固定する。
- 戸棚やタンスの上などに重い物を置かない。
- ガスボンベなどは、倒れないように鎖などで固定する。
- ガラス製品には、飛散防止フィルムを貼る。
- 避難経路は2つ以上考え、実際に歩いて確かめてみる。
- 災害時に、はぐれた場合の落ち合う場所を決めておく。
- 非常食、飲料水、懐中電灯、下着類、救急薬品、ラジオ、貴重品などの非常持出品をリュックサックなどに入れて、持ち出しやすい場所に置いておく。



地震が起ったら

- 屋内では、机やテーブルの下などに身を寄せる。
- 屋外ではカバンや上着で頭を守る。
- ブロック塀や窓、看板等から離れる。
- 火の始末をする。
- 正しい情報を入手して行動する。



地震のあとには津波！

- 弱い地震であっても長い時間ゆっくりした揺れは津波が起こりやすい。
- 長い時間ゆっくりとした揺れを感じたときは、直ちに海岸から離れ、急いで安全な高台に避難する。
- 津波が来る前に、引き波があるとは限らない。
- 津波の危険地域では、できるだけ高いところへ避難し、安全が確認されるまで戻らない。
- 津波は繰り返し襲ってくるので、警報・注意報が解除されるまで沿岸部には戻らない。

津波避難三原則

- ① 最善を尽くせ！
『ここまで来れば大丈夫』と思わず、できるだけ高く、遠くへ逃げてください。
- ② 想定にとられるな！
東日本大震災では、「想定外」という言葉が使われました。想定やハザードマップにとられず、できるだけ高いところへ逃げてください。
- ③ 率先避難者たれ！
自分が逃げることで、周りの人も「逃げなければ」という気持ちになります。



 御坊警察署・御坊警備対策連絡協議会

「津波てんでんこ」の教え

『津波てんでんこ』とは、三陸地方に伝わる教訓で、『津波の時には、親子と言えどもかまわずに、てんでんばらばらに逃げよ』という意味です。

しかし、この教訓には「いざというときにてんでんばらばらに避難することができるように、日頃から家族で津波避難の方法を話し合い『もし家族が別々の場所にいる時に津波が来ても、それぞれがちゃんと避難する』という信頼関係を作っておくこと」という重大な意味も含まれています。

東日本大震災では、親が学校に子どもを迎えに行き津波に巻き込まれるということがありました。家族を信頼し、「津波が来ても、避難してからまた会おう」と言えるように、ぜひご家族で話し合ってみてください。

ニコニコ箱

副SAA - 濱田泰伸 君

◇小林隆弘 君(過分に) 10月10日、博愛会30周年の式典に参加して頂きありがとうございました。

◇栗林久一 君 小林さん、祝賀会ご招待ありがとうございました。

◇細川幸三 君 本日は、お休みして申し訳ありません。理事会には戻ってきます。

全員ニコニコ!!
ありがとうございました。

出席報告

出席委員会 白井 勇 君

会員数	欠席者	出席者	出席率
18名	6名	12名	66.7%
9月21日 の修正出席率			なし

今日のうた

ROTARY CLUB SONG

♪ 四つのテスト ♪ 「言行はこれに照らしてから」



しんじつか どうか みんなに こうへいか
こういと ゆうじょうを-ふか-めるか
みんなの ため-に なるかどうか

次回例会のご案内

★11/2 例会は
定款細則第5条第2節により
休会です。